

令和6年度孤独・孤立対策担い手育成支援事業交付金 事業実施報告書

事業① 創業・伴走支援の様子

＜団体ごとの成果＞

北海道「一般社団法人ユアセル」：空き家を活用した常設の居場所の開設。

経済的に困難な状況にあったため、事業計画や予算書の書き方の指導、及び拠点構えて地域に密着して行くための支援を実施した。結果、新しい空き家を一件借りることができ、常駐の居場所が一つ増えた。また、財源の安定化に向けた制度活用も視野に入れて準備が開始された。

- ・現地視察：新しく運営が始まる居場所の建物外観、内観、今後活用の可能性がある空き物件



埼玉県「レインボースマイル」：法人設立の準備。発信力の強化。

活動の拡大に向け、法人設立を目指した。定款の作成、事務所の検討、常駐の居場所の準備などを行なった。また、これまで割けていた発信や発表資料の作成もテコ入れされ、定款の完成、団体のビジョンやミッションの整備などが行われた。

- ・現地視察：実施している居場所の様子



栃木県「株式会社 雅堂」：デイサービス内に併設する定期的な地域住民の居場所の開設。

デイサービスの運営に加え、制度対象外の地域住民が来る居場所の開設を目指した。そのためのワークショップを実施し、それに向けた地域との交流の仕方、人の巻き込み方をメンターよりアドバイスされ、身につけた。結果、デイサービス内で定期的に地域住民に向けたワークショップが開設されるようになり、地域に居場所が増えた。

- ・現地視察：居場所として開放予定のデイサービスの視察、実際に伴走支援で企画、実施された干し柿ワークショップ



福井県「西谷咲希」：活動の土台の強化。子ども食堂の開設。

高齢者を中心とした居場所づくりを目指し、財源の確保をメンターと考えた結果、地域おこし協力隊に就任。地域との交流の方法や事業計画の書き方などを学び、かつやりたいことを整理する中で「子ども食堂」の開設に至った。

愛知県「深津明日香」：事業計画の整理、地域住民交流企画の立案。

理想ややりたいことが多くあったため、それを地域のニーズと結びつけて考え、事業計画を整理した。また、地域住民が交流しつづつながりが生まれる「妄想会議」の計画を立案し、実施した。

- ・現地視察：子ども食堂実施予定の場所確認、周辺の地域状況確認

